

E-BD型絶縁バスダクトおよびSS-T型シャフトスターの区画貫通部処理工法一覧表

作成:共同カイトック 株式会社 2015.10

会社名	積水化学工業株式会社		日本インシュレーション株式会社		関西パテ化工株式会社		フラマシステム株式会社		日本ヒルティ株式会社	
共同カイトック製バスダクトの型式	E-BD / SS-T		E-BD		E-BD / SS-T		E-BD / SS-T		E-BD / SS-T	
処理対象	壁		床		床		床		床	
貫通スリーブ			有	無	有	無	有	有	有	無
認定取得番号	PS060FL-0788	PS060FL-0789	PS060FL-0667		PS060FL-0214	PS060FL-0344	PS060FL-0364		PS060FL-0378	
認定取得日	平成27年1月16日	平成27年1月29日	平成25年1月28日		平成19年4月26日	平成19年2月15日	平成19年6月15日		平成19年8月28日	
開口面積(m ²)	0.6以下		0.75以下		0.6以下		0.6以下		0.6以下	
バスダクト外積率(%)	23.3以下		18.3以下		10.8以下	10.9以下	14.9以下		16.2以下	
貫通する対象の構造	強化せっこうボード 2枚張りの壁(片壁) (42mm以上)	・中空壁(100mm以上) ・建築基準法第2条第7号の規定に基づく60分耐火構造 ※中空壁は開口補強材が必要	・鉄筋コンクリート(100mm以上)		・鉄筋コンクリート(100mm以上)		・鉄筋コンクリート(100mm以上)		・鉄筋コンクリート(100mm以上) ・中空壁(100mm以上) ・ALCパネル(70mm以上) ・コンクリート(70mm以上)	
仕切板	表面化粧ロックウール保温板		繊維混入けい酸カルシウム板 (平成12年建設省公示第1400号)		・表面処理:ロックウール保温板 ・表面処理:アクリル系樹脂混入水酸化アルミニウム ・基材:ロックウール保温板(JIS A 9504)		・表面処理:ロックウール保温板 ・表面処理:アクリル系樹脂混入水酸化アルミニウム ・基材:ロックウール保温板(JIS A 9504)		両面アクリル系樹脂塗装ロックウール保温板 ・表面材:アクリル系樹脂 ・基材:ロックウール保温板(JIS A 9504)	
鋼製枠	-		①、②又は③ ① 一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) ② 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) 厚さ:1.6mm以上高さ:100mm以上 (床厚)+50mm以下(露出部分) ③ なし		一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)		一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)		一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)	
その他材料	・耐熱シール材:(黒鉛混入水酸化アルミニウムシール材) ・膨張材:(黒鉛含有ブチルゴムシート裏張/アルミニウムはく張ガラスクロス)		・耐熱シール材 (ポリブタジエン系樹脂混入水酸化アルミニウム)		・耐熱シール材:(けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材) ・バックアップ材:(ロックウール保温板(JIS A 9504))		・耐熱シール材:(グラファイト・アクリル樹脂系混入水酸化アルミニウム材)		・充てん材(アクリル系樹脂) ・充てん材(ロックウール及びロックウール保温板) ・膨張材(アクリル・グラファイト系ラップ)	
同時に処理できるもの	ケーブル:150mm ² 以下(1本あたり)	・ケーブル:325mm ² 以下(1本あたり)	ケーブル 200mm ² 以下 (1本あたり)	ケーブル 250mm ² 以下 (1本あたり)	ケーブル100mm ² 以下 (1本あたり)		-		・ケーブル325mm ² 以下 (1本あたり) ・電線管(外径): 鋼製φ76.2mm以下 樹脂製φ45.5mm以下	・ケーブル150mm ² 以下 (1本あたり) ・電線管(外径): 鋼製φ76.2mm以下 樹脂製φ45.5mm以下
その他	・シーリング材: 建築用シーリング材(JIS A 5758) ① 変成シリコン系樹脂 または ② シリコン系樹脂 ・仕切り板とバスダクト、ケーブル、電線管との隙間は10mm以下となるようにする。 ただし、バスダクトの欠陥部等で一部10mmを超えてもよい。		-		-		-		受け金具: 溶融亜鉛メッキ鋼板 1.6t以上(JIS G 3302)	-
連絡先およびご担当	積水化学工業 株式会社 耐火材料営業所(大阪) 永野 喜郎 様 Tel:06-6365-4152 Fax:06-6365-4215		日本インシュレーション株式会社 建築事業部 関東支社 営業グループ 課長 新井 勝己 様 Tel:03-5875-8441 Fax:03-5875-8841		関西パテ化工 株式会社 大阪本社 営業部 川上 基 様 Tel:072-982-2131 Fax:072-982-2135		フラマシステム 株式会社 耐火製品部 マーケティング主任 鈴木 洋平 様 Tel:03-5283-2457 Fax:03-5281-0050		日本ヒルティ 株式会社 耐火システムスペシャリスト 東日本担当 (静岡より東(東京・仙台)) 小野村 康之 様 西日本担当 (名古屋より西(名古屋・大阪・福岡)) 生津 圭亮 様 Tel:0120-661159 Fax:0120-232953	

※建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令第129条の2の5第1項第七号ハ[防火区画貫通部1時間遮炎性能]の規定に適合するもの。
 ※バスダクト標準図に記載している寸法で施工した場合でも、区画貫通部処理工法によってはバスダクト外積率を超える場合があります。
 (開口の面積と貫通するバスダクトの定格や系統数による。)